

# 三春滝桜

みちのくの小さな城下町・三春町の中心部から南へ約4キロ、三春ダム湖「さくら湖」近くのくぼ地に、ぽつんと1本生えた枝垂れ桜が滝桜です。冬は、大きなごつごつした木肌の老木ですが、東北の遅い春の陽ざしを浴びると、生まれ変わったように紅色のほとぼしる滝のように可憐な花を咲かせます。そして、花が終わると枝いっぱいに葉を茂らせ、初夏の風が重たそうに揺らします。秋には赤や黄色に色づきながら葉を散らせ、冬の風雪にじっと耐え、新しい春を待ちます。



- **所在地**…福島県田村郡三春町大字滝字桜久保地内
- **種類**…エドヒガン系のベニシダレザクラ
- **大きさ**…高さ13.5m、幹回り8.1m、根回り11.3m  
枝張り 東へ11.0m、西へ14.0m  
南へ14.5m、北へ5.5m
- **樹齢**…1,000年以上と推定されています。
- **見頃**…4月中旬から下旬  
開花日…平成26年4月11日 平成25年4月7日  
平成24年4月23日 平成23年4月13日
- **特徴**…小さな紅色の花を無数に咲かせ、まさに滝が流れ落ちるかのようになります。



## 主な交通機関



## 交通のご案内

- 東北自動車道・磐越自動車道で約2時間50分  
(東京⇄郡山JCT⇄郡山東IC)
- 常磐自動車道・磐越自動車道で約3時間  
(東京⇄いわきJCT⇄船引三春IC)
- 福島空港から車で約40分
- 東北新幹線で約90分(東京駅⇄郡山駅⇄三春駅)
- **三春町役場**  
〒963-7796 福島県田村郡三春町字大町1-2  
TEL: 0247-62-3960 <http://www.town.miharu.fukushima.jp/>
- **みはる観光協会**  
〒963-7725 福島県田村郡三春町大字鷹巣字瀬山213  
TEL: 0247-62-3690 <http://www.miharukoma.com/>

福が満開、福のしま。

# 三春滝桜

三春町 (株)三春まちづくり公社 / みはる観光協会

# 歴史

## 江戸時代以前

天文年間(1532~1554)に滝美濃により植えられたという説もありますが、天保7年(1836)に著された「滝佐久良の記」に、江戸時代の三春藩主秋田氏が入部した正保2年(1645)にはすでに大木であったと記されており、さらに樹齢は古いと考えられます。

また、享和3年(1803)に長岡藩の密偵が陸奥南部を調査した際の旅日記「陸奥の編笠」に「幾百歳を歴たる」「老木のしたり桜」で「廻り三人にて手を廻してもとどかず」「式拾間四面程」の巨樹として記されています。さらに、『田村郡郷土史』によると、天保6年(1835)に三春藩士が上京して滝桜の図や丈量を紹介し、京都の公家らにより多くの歌が詠まれ、それらを光格天皇もご覧になったということです。

## 近代

大正11年(1922)10月には国の天然記念物に指定されました。指定後、旧中郷村は桜樹の周囲に石柵を設けて保護するとともに、「滝桜保存会」を組織し周囲の環境維持に努め、昭和2年の調査ではおう盛な樹勢が認められました。



▲天然記念物指定後(石柵)



▲昭和初期の滝桜

## 昭和

昭和30年(1955)の町村合併により、滝桜の管理は旧中郷村から三春町へ移りました。昭和40年(1965)には、北側の太枝に大きな裂けた傷が見つかり、県の文化財保護審議会と協議して応急処置をし、昭和53年(1978)からは開花期に踏圧から根を守るためのスノコを敷くようになりました。昭和57年(1982)には、周囲の土地を町が借り上げて外柵を設け、昭和61年(1986)には、勲日本花の会に委託して樹勢調査を行いました。



## 平成

平成元年(1989)には客土による土壌改良、平成2年(1990)には滝地区に「滝桜保存会」が結成され、根元周辺の草刈りや堆肥による土壌改良を毎年行っています。平成4年(1992)には土壌改良が行われ、平成8年(1996)には三春ダム周辺のウォーキングトレイル整備と合わせて樹勢回復事業が5か年計画で開始されました。その後樹勢は回復していきませんが、平成14年(2002)10月1日には台風により最上部の1本が折れ、平成16年(2004)2月に折れ口の処理を実施しました。そして、平成17年(2005)1月



▲雪折後の滝桜

15日から降り続いた湿った大雪のため、17日未明に太枝を含む20本以上の枝が折れたため、同年3月までに国の補助を得て修復工事を行いました。

平成18年(2006)からは滝桜サポーター事業を開始し、樹木の専門家や地元代表らによる滝桜保護保存周辺環境整備検討委員会を組織し、保護保存の方策を検討するとともに、滝桜の根元周囲に残された旧石柵基礎の状況を試掘調査により確認し、平成19年度(2007)からはその撤去作業を滝桜に負担をかけないよう4年かけて少しずつ実施し、平成22年(2010)3月に完了しました。平成21年(2009)と同26年(2014)2月には枯枝剪定も行っています。

平成22年からは、滝桜駐車場料金と滝桜協力金を廃止し、滝桜観桜料としてお願いをしています。これらは、桜の保護保存、周辺環境の整備、観光客の皆様の受入れ態勢の充実に活用させていただいています。



▶枯枝剪定の滝桜  
(平成26年3月6日)